

## 第2回大野市脱炭素推進会議 次第

日 時 令和5年11月6日（月）午後2時00分～

場 所 結とぴあ2階 201・202号室

### 1 委員の交代に伴う委嘱式

- (1) 委嘱状の交付
- (2) 委員の紹介

### 2 会長あいさつ

### 3 議 事

#### (1) 脱炭素プロジェクトの行動計画について

対象プロジェクト 「健康快適！脱炭素住宅・建築物&エコドライブの促進」

#### (2) 各委員の取り組みについて

- ①福井銀行
- ②福井県
- ③奥越小水力発電推進協議会

#### (3) 他プロジェクトの課題・取組状況等調査のお願い

### 4 その他

- ・次回の開催について 令和6年4月末予定

### 5 閉会

# 「健康快適！脱炭素住宅・建築物&エコドライブの促進」 行動計画（案）

- ・ プロジェクトの概要、目標
- ・ 第1回推進会議の振り返り、現状と課題
- ・ 2030年までに取り組む行動計画案

# 脱炭素プロジェクトの概要

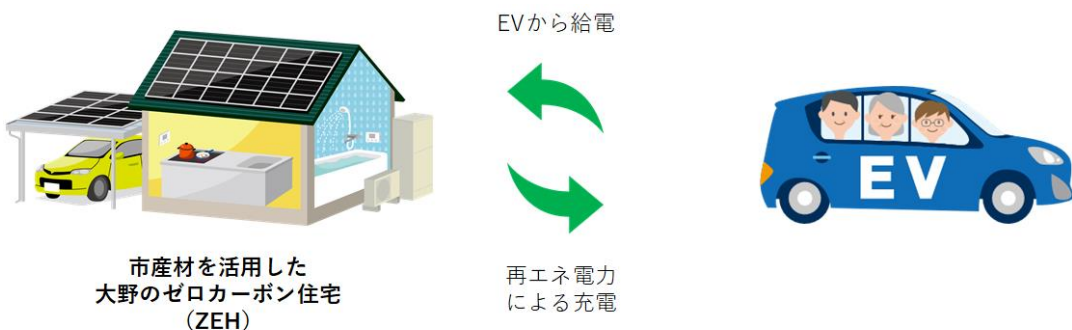
- 【現状と課題】**
- ・持ち家の木造戸建て住宅が多く、世帯当たりの自動車保有台数も多いです。
  - ・高齢者のみの世帯が増えており、熱中症やヒートショックなど屋内での健康被害を防ぐ対策が必要です。

**【概要】**

- ・ **快適で豊かな暮らしと脱炭素を同時に実現するため、省エネ、創エネ、畜エネを積極的に取り入れた住宅や事務所などの建物を普及させます。**特に断熱性能の向上や地域資源を活用した暖房設備の導入促進により、冬の厳しい寒さでも快適に過ごすことのできる住環境の整備を進めます。
- ・ 建材には地域産木材を活用し、炭素貯蔵の促進と林業活性化に貢献します。
- ・ ガソリン車から電気自動車や電気バイクなど環境にやさしい車両に転換するとともに、急速充電器などのインフラ整備を推進します。

**【プロジェクトイメージ】**

※1 ゼロカーボンドライブ：太陽光などの再生エネを使って発電した電力と、EVやPHVを活用した走行時のCO2排出量がゼロのドライブのこと



取組主体	今からできること
事業者 市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新築住宅のZEH化、既存住宅の断熱改修</li> <li>・ 新築建築物のZEB化、既存建築物の断熱改修</li> <li>・ 高齢者住宅や共同住宅の脱炭素化</li> <li>・ 自家消費型再生エネ設備の導入</li> <li>・ 省エネ家電、設備の導入</li> <li>・ 自家用車、商用車のEV、PHV、FCV、電動バイク等への更新</li> <li>・ 急速充電器やV2H設備の設置</li> </ul>

**【取組効果】**

- ・ 電気代、燃料代の節約
- ・ 住環境の向上による健康維持（ヒートショック防止等）
- ・ 建物の資産価値向上
- ・ 災害時の電力供給（自立発電・EVの蓄電池利用）
- ・ 車両による道路沿線の騒音軽減

**【実施に向けた課題と施策】**

**（問題・課題）**

- ・ 住宅施工事業者との目標や水準の共有化
- ・ 進みにくい既存住宅の改修（家主・事業者の高齢化）
- ・ 空き家の活用

**（施策）**

- ・ 脱炭素ライフスタイル（ZEH、省エネ設備等）の普及啓発
- ・ 関係者と連携した設置、導入支援体制の構築
- ・ 空き家の脱炭素改修等による移住定住支援

# 脱炭素プロジェクトのCO2削減目標等



大野市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

2023年

2025年

2030年

2023年

2025年

2030年

目標 省エネ対策 ▲3,674t ⇒ ▲6,124t ⇒ ▲13,347t 再エネ導入 ▲122t ⇒ ▲204t ⇒ ▲408t

民生業務部門 (会社・店など)

民生家庭部門 (一般家庭)

項目	目標 (※) 2030年度
LED照明への交換	<b>8施設分</b> (※消防署換算)
ZEB (新築)	<b>1施設</b> (※消防署換算)
太陽光発電の導入	<b>24件</b> (20kW)
高効率給湯器	<b>27台</b>

項目	目標 (※) 2030年度
LED照明への交換	<b>290世帯</b> (30台/1世帯)
ZEH (新築)	<b>76軒</b>
太陽光発電の導入	<b>50件</b> (5kW)
高効率給湯器	<b>591台</b>

運輸部門 (自家用車・社用車など)

項目	目標 (※) 2030年度
次世代自動車	<b>5,845台</b>



※基準年度 (2020年度) からの増加数

# 委員からの意見（第1回推進会議）

- 市民らが受け取っている情報量が少ない
- 個人や事業者が**何をどれくらい取り組めばよいか**わかっていない
- 導入費用が掛かるので、コストとメリット（費用対効果、**健康増進、節約**など）、必要性の周知や**不安感の払拭**（太陽光発電の積雪・EVの冬季性能低下のおそれなど）するなど**正確な情報提供と補助支援が必要**
- 1週間など具体的に**体感、体験**してもらう
- 節約額など**具体的な数字やモデルケースの提示**など、分かりやすく伝える
- 国や県の補助事業の活用、市による補完
- 情報共有による「知らないから取り組まない」「わかっているけどやれない」からの脱却
- 人材の掘り起こし、県単位でのネットワーク充実
- 充電設備の充実

# マンダラチャート

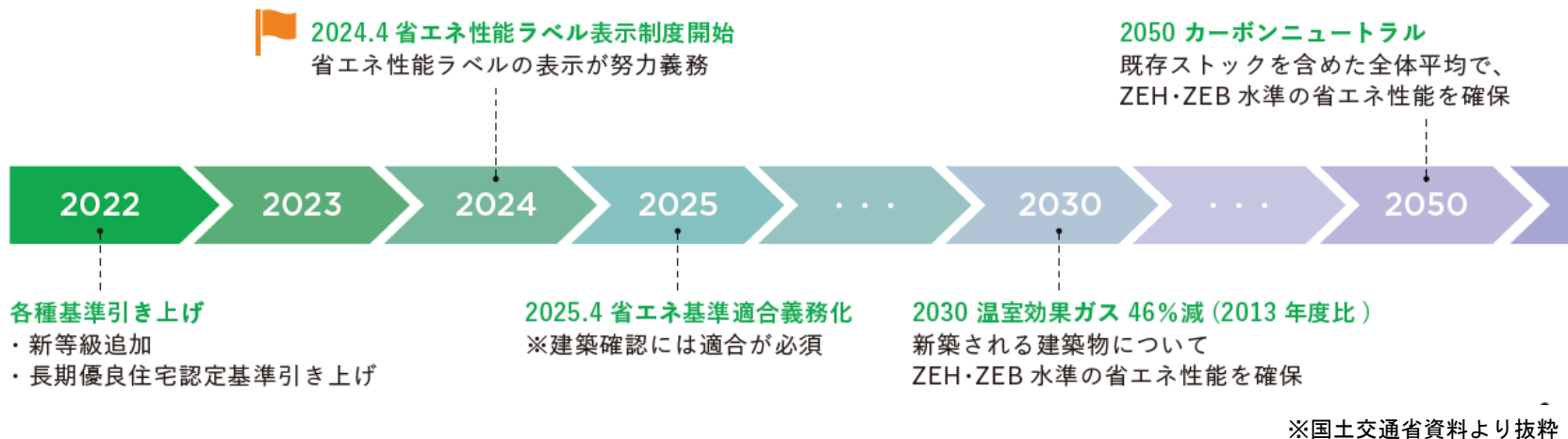


大野市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

エアコン、冷蔵庫を省エネタイプに買い替える	LED照明に替える	エコキュートを導入する	リースなど初期投資を抑える導入方式	屋根融雪の灯油を太陽熱に替える	太陽光	うちエコ診断 省エネ診断	良さを体験する	シンポジウムやセミナーに参加する
エアコンの温度管理をする	① 家庭・オフィス・店舗での省エネ	節電に心がける	導入サポート	④ 家庭・オフィス・店舗での再エネ設備の導入	国補助金の活用	効果の見える化	⑥ エコ住宅・ゼロカーボンドライブの良さを知ってもらう	健康被害防止
残業を減らす	観葉植物、グリーンカーテンを設置する	エコな燃料を使う	エコに取り組む事業者の評価を高める (公共工事・顕彰)	社員の給料アップ	木質ペレットボイラー薪ストーブ	省エネ相談窓口	エネルギーの節約	防災力の向上
ニーズの把握	県産材を活用する	費用を減らす	家庭・オフィス・店舗での省エネ	家庭・オフィス・店舗での再エネ設備の導入	エコ住宅・ゼロカーボンドライブの良さを知ってもらう	勉強会・セミナー	市民リーダー	業種ごとの研修会
オール電化にする	② 新築住宅のZEH化 新築建築物のZEB化 既存住宅・建築物の断熱改修	二重外壁窓に改修する	新築住宅のZEH化 新築建築物のZEB化 既存住宅・建築物の断熱改修	<b>脱炭素住宅・建築物 ゼロカーボンドライブの促進</b>	脱炭素人材(担い手)の育成	外部人材の活用	⑦ 脱炭素人材(担い手)の育成	資格の取得
公共施設の脱炭素化	省エネ住宅の講習会	融資利率の引き下げ項目にする	ネットワークの構築	エコな移動の実践	エコカーの導入	専門期間との連携	SDGsパートナー	活躍の場
情報共有	事業者間の連携	国・県・市の連携	公共交通機関	ノーカーデー	エコドライブモード	充電スポットを増やす	不安を取り除く(冬季性能)	車種を増やす
結のEco協賛店	③ ネットワークの構築	役割分担 自社の強み	エコドライブの実践	⑤ エコな移動の実践	徒歩	体験乗車	⑧ エコカーの導入	価格を下げる
意見交換会	ワンストップサービス	先進事例の紹介	共助・カーシェア	健康	自転車	蓄電池利用	燃費・電費性能	納期を短くする

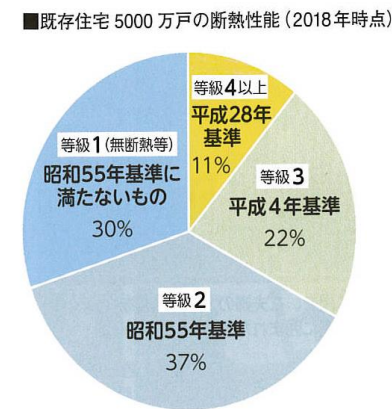
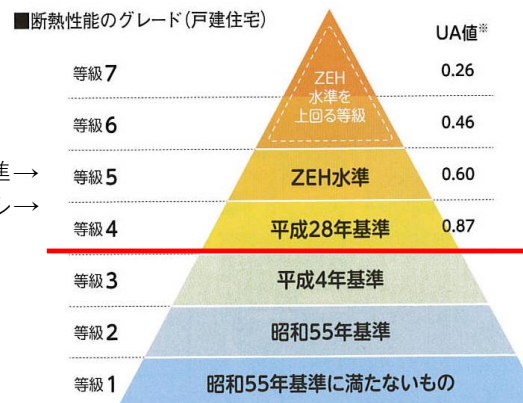
# プロジェクトを取り巻く現状と課題

- 2025年から全ての新築住宅・非住宅に省エネ基準適合義務化  
⇒ **新築はエコ住宅の普及が進む**



- CO2排出量全体の約3分の1を住宅・建物が占めている(全国値)

- 大野市内の長期優良住宅 **130件**  
⇒ まだまだ普及していない



⇒ **既存住宅の省エネ化が課題**

# 具体的な行動計画（案）の概要



大野市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## ⑥エコ住宅・ゼロカーボンドライブの良さを知ってもらう

【普及啓発】

断熱性能の高いエコ住宅やEVを体感・体験してもらう

「健康」「節約」「防災」など、「脱炭素」以外からのアプローチ

効果の見える化

## ③ネットワークの構築

## ⑦脱炭素人材（担い手）の育成

【土台作り】

ネットワークの構築

脱炭素人材（担い手）の育成

## ①家庭・オフィス・店舗での省エネ

## ②新築住宅のZEH化・新築建築物のZEB化、既存住宅・建築物の断熱改修

## ④家庭・オフィス・店舗での再エネ設備の導入

## ⑤エコな移動の実践

## ⑧エコカーの導入

【行動変容】

エコ住宅・省エネ建物への改修、省エネ家電・設備の買い替え

エコカーの導入、エコドライブの実践



# 具体的な行動計画（案）



## ① 【普及啓発】

《目的》 エコ住宅・ゼロカーボンドライブの良さを知ってもらう

### ◆断熱性能の高いエコ住宅やEVを体感・体験してもらう

(取組案)

- ・断熱性能の高い住宅の内覧会開催
- ・公共施設のZEB化と見学会開催
- ・イベント等や車検代車でのエコカー（EV）体験乗車

(実施主体)

市、市内住宅関連事業者、  
市内自動車販売店

### ◆「健康」「節約」「防災」など、「脱炭素」以外からのアプローチ

(取組案)

- ・保健関連イベントやサロンでの啓発活動
- ・防災関連イベントや地区避難訓練での啓発
- ・消費者団体等と連携した省エネセミナーの開催

(実施主体)

市、各地区自治会、  
消費者団体、電力事業者

### ◆効果の見える化

(取組案)

- ・うちエコ診断、省エネ診断、  
エコドライブ体験等の実施

(実施主体)

市、電力事業者、商工会、  
金融機関、県地球温暖化防止センター



# 具体的な行動計画（案）

## ② 【土台作り】

≪目的≫ エコ住宅・エコカーの普及を担う人材の育成、体制の構築

### ◆ネットワークの構築

(取組案)

- ・ 結のEco協賛店の拡充、情報の充実、相互連携
- ・ 国や県の補助事業、セミナーなど情報共有
- ・ 市内先進事例や各団体等の取り組みを紹介した相互学習会
- ・ SDG s パートナーへの登録
- ・ 業種等を超えた情報提供窓口の設置（無関心層対策）

(実施主体)

脱炭素推進会議の構成団体・事業者、結のEco協賛店

### ◆脱炭素人材（担い手）の育成

(取組案)

- ・ 高気密、高断熱の設計、ZEH標準仕様化、施工上の留意事項など専門スキル向上のための研修実施
- ・ 関連資格取得等にかかる支援
- ・ 有資格者情報等の登録及び公表（結のEco協賛店）

(実施主体)

市、各業界団体・事業者、結のEco協賛店

(参考) 福井県がR5に実施した事業者向け人材育成セミナー



# 具体的な行動計画（案）

## ③【行動変容】

≪目的≫ 既存住宅・建築物及び自動車の省エネ化を実践する

### ◆エコ住宅・省エネ建物への改修、省エネ家電・設備の買い替え

(取組案)

(実施主体)

- ・国や県補助事業の積極的活用した改修促進、補完的な補助事業の検討（※「住宅改修関連補助事業一覧」参照）
- ・環境配慮型住宅向け金利引下げ等の金融支援
- ・中古住宅の活用、多世代同居への支援（暮らし住まいづくり支援事業）
- ・県産材の積極的活用（県産材活用補助）
- ・家庭向け太陽光発電及び蓄電池システムの導入支援
- ・リースなど初期投資費のない方式による省エネ設備導入
- ・太陽光パネルや蓄電池、EV用充電設備等の設置を見据えた施工

市、住宅関連事業者、  
設備関連事業者、商工会

### ◆エコカーの導入、エコドライブの実践

(取組案)

(実施主体)

- ・国や県補助事業の積極的活用した導入促進、補完的な補助事業の検討
- ・EV用充電設備の導入推進（公共施設・商業施設）
- ・エコメンテナンス、エコモードの奨励

市、自動車関連事業者